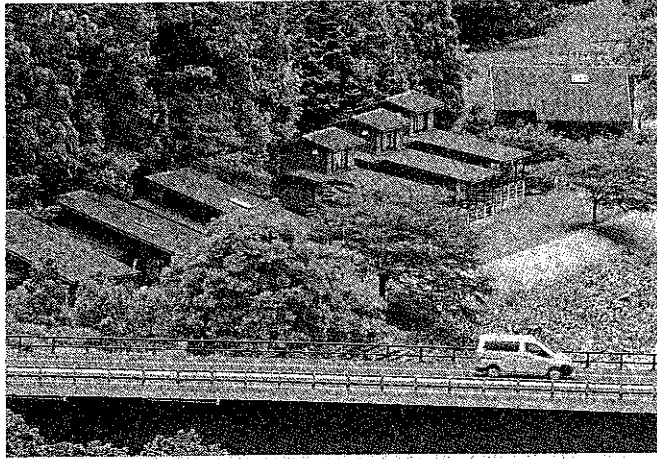


過去最高1019万円の黒字

2015年度 キャンプイン海山決算



2015年度は過去最高の1019万円の黒字となった町営キャンプイン海山（紀北町便ノ山で）

紀北町商工観光課は、便ノ山の町営オートキャンプ場「キャンプイン海山」の2015年度（平成27）年度利用実績、売り上げ、利益と

紀北町商工観光課は、便ノ山の町営オートキャンプ場「キャンプイン海山」の2015年度（平成27）年度利用実績、売り上げ、利益と

紀勢自動車道の全通や清流鉾子川の知名度

アップなどで利用者数、売り上げ、利益と

も1998（平成10）年のオープン以降、最高となった。利用者数は日帰りキャンプを含め2万4942人で、前年度に比べ2716人（12・2％）の増加。月別でも多かったのが夏休みの8月1万7211人、次いで7月5981人、シルバークの9月3673人。最も少なかったのは2月の204人。

収入は前年度に比べ600万円（11・7％）増の5720万円。支出は570万円（13・7％）増の4701万円。差し引き1019万円の黒字となった。

収入は前年度に比べ600万円（11・7％）増の5720万円。支出は570万円（13・7％）増の4701万円。差し引き1019万円の黒字となった。

019万円の黒字となり、前年度に比べ30万円（3％）増で過去最高利益。オープン2年後の2000年度から16年連続の黒字。

収入の大半はコテージやキャンプサイトの利用料。支出は指定管理者のNPO法人ふるさと企画舎（田上至理事長）への指定管理料2602万円と報償費1823万円（前年度比27・8％増）、コテージの備品購入費153万円や補修費92万円など。報償費は収入が3千万円を超える部分の70％を同NPOに還元。

施設は敷地約3万5千平方メートルに管理棟、コテージ15棟（5～8人用）、リバーオートキャンプサイト40区画、

施設は敷地約3万5千平方メートルに管理棟、コテージ15棟（5～8人用）、リバーオートキャンプサイト40区画、

林間オートサイト30区画、炭火焼きハウスや炊事棟、トイレ棟、木造のバリアフリー化やスロープの設置、水陸両用の車いすなどを整備した。情報発信に努めた。上理事は「中部、関

ふるさと企画舎の従業員は正社員、パート、臨時の計12人。田上理事長は「中部、関